

# 本音で語る行政のあり方

— 市民・住民のために改めるべきところと守るべきところ —

行政には「財政再建」が求められる一方で、「高齢化社会、中心市街地、交通、福祉、教育など多様な課題」の解決が同時に求められている。それを市民から直接選ばれた首長が先頭に立って、従来の仕組みを改革しつつ、解決に取り組んでいる。しかし首長の意志とは反し、行政における縦割り、国の関与、前例主義、責任の所在の不明確さなど…改革を阻むものは数々あり、民間から見れば「お役所仕事」という批判は免れない。しかし一歩行政の立場に踏み込むと、公平性、透明性、法令の遵守など、守らなければならない制約が大きいことも事実である。いったいどうすればよいのか…首長、行政、民間それぞれの立場で「建前と本音」を徹底的に掘り下げ、真の改革を実現する道を探る。



このフォーラムは土木学会 CPD プログラムに認定されています

NPO 法人地域デザイン研究会事務局  
〒541-0046 大阪市中央区平野町 2-2-8 イシモビル 2F  
TEL : 06-6231-0550 FAX : 06-6202-7201  
E-mail : office@npo-rdi.com

## ■出演者紹介

	<b>白井 文氏(尼崎市長)</b> 1993年6月尼崎市議員、2002年12月市長に就任、2006年11月再選、「尼崎を変えよう」と改革に取り組む。
	<b>西村 肇氏(城崎温泉西村屋社長)</b> 2002年より2005年4月豊岡市と合併するまで城崎町長、観光まちづくりに取り組み、国土交通省「観光カリスマ百選」に選ばれる。
<b>杉立 利彦氏(SIN生活空間研究所主宰)</b> 1977年大阪市大大学院工学研究科修了、市浦都市開発建築コンサルタンツへ入社、1999年取締役就任、2004年SIN生活空間研究所を設立。	
<b>田村 恒一氏(阪神高速道路(株)常務取締役)</b> 1967年大阪府入庁、土木・都市計画行政に従事し、2003年より阪神高速道路公団理事、2005年公団の民営化に携わる。	
<b>建山 和由氏(立命館大学教授)</b> 2004年より立命館大学教授。都市デザインについてソフト、ハード両面から研究を行っている。	

■日時:2007年2月17日(土)14:00~16:30

■場所:大阪市立阿倍野市民学習センター 講堂  
大阪市阿倍野区阿倍野筋 3-10-1-300  
(あべのベルタ3F) TEL06-6634-7951

### ■プログラム:

13:30:開場

14:00:開会挨拶

14:10:パネルディスカッション

#### ◆パネリスト:

白井 文氏(尼崎市長)

西村 肇氏(前城崎町長・現城崎温泉西村屋社長)

杉立利彦氏(SIN生活空間研究所主宰)

田村恒一氏(阪神高速道路(株)常務取締役)

#### ◆コーディネータ:

建山 和由氏(立命館大学教授)

16:20:閉会挨拶

■主催:NPO法人地域デザイン研究会

■後援:(社)日本都市計画学会関西支部

(社)土木学会関西支部

(社)日本建築学会近畿支部

(財)大阪府都市整備推進センター

(財)大阪市都市工学情報センター

(社)建設コンサルタンツ協会近畿支部

■資料費:1,000円

■参加申込:氏名、所属(企業・団体)、連絡先(電話番号、E-mail)を記入の上、Mail もしくは裏面からのFAXにてお申し込みください。(定員になり次第締め切らせていただきます。)

阿倍野市民学習センター位置図

